

まつげエクステ施術後にまぶたが腫れてしまう状態は、まつげエクステのトラブルで報告される事例です。軽症であっても外見上が変化してしまうため、施術を受けられる顧客は非常に気にされる病気だと思います。

まぶたの腫れの原因は様々ですが、よく知られた病気に「(1)」があります。これは俗名で医学的に「麦粒腫(ばくりゅうしゅ)」と「霰粒腫(さんりゅうしゅ)」という2種類の病気に分かれます。また、まぶたの周辺や皮膚に(2)が起きる病気に「眼瞼炎(がんけんえん)」があります。

「麦粒腫」は(3)が感染することによって起こる病気で、「眼瞼炎」は細菌感染以外に(4)でも起こります。

●「ものもらい」について

まぶたが腫れて痛みが生じる目の病気を俗に「(1)」と言いますが、他にも「めばちこ」「目イボ」など地方によって様々な呼び名があるようです。医学的には、「麦粒腫」とか「霰粒腫」というのが正式な名前です。上下どちらのまぶたにも発症します。

◆麦粒腫

麦粒腫の原因は、(3)感染です。主に(5)ぶどう球菌や表皮ぶどう球菌という(3)によって感染します。

まぶたにはまつげが生えており、その周辺に毛根部の脂腺や汗を出す分泌腺である(6)、涙に含まれる油の成分を分泌する(7)というところがあります。麦粒腫はこれらの場所に(3)が感染した場合に生じます。毛根部や(6)に感染した場合を「(8)」、(7)に感染した場合を「(9)」と呼びます。

症状と治療

初めはまぶたの一部が赤く腫れ、触れると痛みます。やがて、痛みが強くなり、膿がたまってきます。(8)では皮膚側に化膿した白い膿が見え、(9)ではまぶたの裏側に膿がたまります。

治療には、抗生物質や(10)剤の点眼や内服を行います。早めに治療すれば、薬物治療だけで膿が出てこない内に治ることもあります。あまりに化膿している場合は、切開して膿を出せば快方に向かいます。化膿したところが自然に破れて膿が出るがありますが、膿さえ出せば切開した場合と同じく治っていきます。

◆霰粒腫

霰粒腫は、(7)の(11)がつまってしまい、(12)的な炎症が起きて(13)というかたまりができる病気です。基本的には(14)感染を伴わない炎症です。

症状と治療

まぶたの内側に腫れや異物感を感じます。本来は(14)の感染がないので強い痛みや赤みもなく、まぶたに触るとコロコロとしたできもの((15))がある感じがします。しかし、できものところに(14)が感染することも少なからずあり、この場合は赤みや腫れも強くなります。これを(16)霰粒腫と呼びます。

治療は、できものが小さければ自然に吸収されることもあるので、経過観察だけでよいこともあります。しかし、大きい場合は手術で摘出したり副腎皮質(17)薬を注射したりすることもあります。(16)霰粒腫の場合は抗生物質などで炎症を抑えて、できものが残る場合に切開などを考えます。数は少ないですが、高齢者では(18)(脂腺ガンなど)との鑑別が必要なこともあるので注意がいらいます。

●「ものもらい」になりやすくなる原因は？

麦粒腫の原因となるぶどう球菌は、生活圏のあらゆる場所に存在し、皮膚や手指、鼻の中、毛髪など人も保有している(19)菌です。皮膚には常に存在する菌なので、どれだけ衛生に気を付けてもなくなることはありません。

感染しやすくなる原因としては、汗腺や(20)が汚れるなどして分泌が滞る、寝不足や疲れなどで体の抵抗力が低下することなどが挙げられます。また、最近では、まつげの(21)にまで化粧をしている方がいます。(20)の上にもまでメイクをして(20)の(22)を塞いでしまうと、ドライアイなど他の病気も引き起こす可能性があります。濃い化粧は控えまぶたを清潔に保ちましょう。

●眼瞼炎（がんけんえん）について

眼瞼（まぶたのこと）にかゆみや発疹、腫れなどの炎症が起こる病気のことを眼瞼炎といいます。まつげの根元あたりに炎症がおこる「（ 23 ）」、皮膚に起こる「（ 24 ）」などの種類があります。

「（ 23 ）」には（ 25 ）がまつげの毛根・汗腺・マイボーム腺などに感染することによって生じる感染性のものと、（ 26 ）からの過剰分泌によって生じる非感染性のものがあります。感染する（ 25 ）は（ 27 ）が多いとされています。

「（ 24 ）」の多くは、化粧品・薬品・植物・食品などいろいろな刺激物質によるアレルギー反応によって起こる非感染性のものですが、（ 28 ）ウイルスによる感染で生じることもあります。

症状

原因によって症状も異なりますが、主にまぶたにかゆみや発疹、赤み、腫れなどの炎症が起こります。自然に治る場合もありますが、ひどい場合にはただれやかさぶたなどができます。（ 23 ）が重症になると（ 29 ）ができたり、まつげが抜けたりします。（ 24 ）では皮膚のかゆみ、発赤、腫脹だけでなく（ 30 ）ができることもあります。

治療

（ 25 ）が原因の感染性の場合、抗生物質による点眼や内服を行い、ウイルスの場合は抗ウイルス薬を投与します。（ 23 ）の場合は眼瞼縁（まぶたの縁）を清潔に保つことが大切です。非感染性のアレルギーの場合は、（ 31 ）を避ける、ステロイド薬などの軟膏を塗る、抗アレルギー薬などの内服を行います。

●まぶたの腫れ—予防と対策

- ・まぶたが腫れてしまったときは、まぶたを（ 32 ）で擦ったり、むやみに触ったりするとますます悪化します。清潔にすることを心掛けましょう。
- ・抵抗力が弱ると（ 25 ）に感染しやすくなります。栄養バランスを考えた食事をとり、規則正しい生活をしましょう。
- ・化粧をするときは、アイラインを濃くせず、まつげの（ 33 ）まで化粧をしないようにしましょう。化粧を落とすときは、（ 34 ）をしっかりと行いましょう。
- ・まぶたが腫れてしまったときは、まぶたの化粧を控えてください。また（ 35 ）は、しばらく使用を中断してください。
- ・辛い刺激物、（ 36 ）などの食品は炎症が悪化する可能性がありますので、症状があるときは摂取しないようにしましょう。

●注意すべきこと

まぶたの腫れと施術に最も関係があると考えられるのは、アレルギー反応によって引き起こされる（ 37 ）です。グルーやツイザーなどの施術用具で、アレルギー反応を引き起こし、まぶたの腫れ痒みなどを訴えるお客様がいらっしゃいます。アレルギーの有無はお客様の体質の問題ですので、施術前の（ 38 ）はしっかり行ないましょう。

施術の際は清潔な外衣を着用し、清潔なマスクを使用して施術を行ってください。また、顧客一人ごとに施術前・施術後には手指を洗い、皮膚に触れる（ 39 ）などの施術道具は必ず（ 40 ）してください。他にもサロン全体に目を配り、チェックリストを参考にするなどして、継続的に衛生管理を行ってください。

ものもらいは、体調がすぐれない時や目が疲れている時に起こりやすくなります。

体調管理に気をつけることや、まぶたの過剰なメイクをひかえるなど、来店された顧客が普段の生活で実践できる予防と対策についてもしっかりとお伝えしましょう。

施術後のまぶたのトラブルは、施術が原因と考えられてしまう可能性が高いので、アレルギー反応と衛生面の管理には十分に注意しましょう。

問. 空欄に入る正しい言葉を次の一覧から選んで、記号で答えなさい。 ※同じ言葉を何回使ってもかまいません。

記号		記号		記号		記号	
イ	ものもらい	ロ	肉芽腫	ハ	出口	ニ	コンタクトレンズ
ホ	アルコール飲料	ヘ	表側	ト	黄色	チ	外麦粒腫
リ	手	ヌ	逆さまつげ	ル	細菌	ヲ	裏側
ワ	赤色	カ	炎症	ヨ	悪性腫瘍	タ	ビタミン
レ	慢性	ソ	クレンジング	ツ	アレルギー	ネ	真菌
ナ	消炎	ラ	眼瞼皮膚炎	ム	マイボーム腺	ウ	内麦粒腫
ノ	ツィーザー	オ	水疱	ク	眼瞼縁炎	ヤ	入口
マ	急性	ケ	消毒	フ	内側	コ	アレルギー
エ	汗腺	テ	ステロイド	ア	カウンセリング	サ	常在
キ	ブドウ球菌	ユ	皮脂腺	メ	腫瘍	ミ	帯状疱疹

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40

----- 解答 -----

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
イ	カ	ル	コ	ト	エ	ム	チ	ウ	ナ	ハ	レ	ロ	ル	メ	マ	テ	ヨ	サ	ム

21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40
フ	ハ	ク	ラ	ル	ユ	キ	ミ	ヌ	オ	ツ	リ	フ	ソ	ニ	ホ	ラ	ア	ノ	ケ